

新村まさる

この1年の活動を、 徹底検証!

新村まさるは
一体、何者なんだ!?

地域を担う 一員として

地域でのあらゆる取組みが、私にとっての活動の礎です。

地域行事の実施や防犯への取組みなど、地域の中心となって活動することで、地域が直面する課題を的確に把握できますし、多くの方とのコミュニケーションをもとに暮らし全般の悩みや課題を集約することができます。何より、多くの笑顔が集う場所なので、私は地域活動が大好きです。地域発展や活動の充実を担う一員としての矜持を持って、これからも役に立つことができたいと思っています。



毎月開催の防犯定例会

長丘校区で防犯会長を務めています。各町内からの防犯委員皆さん全員で協力し合って、地域安全・防犯活動へ取組んでいるところです。



校区主催の豆まき大会

校区や町内では、年間を通して多くの行事が開催されます。企画・準備から運営・片付けまで、地域自治は多くの善意で成り立っています。



夏祭りでの子ども神輿

町内行事の中でも「夏祭り」は、企画・準備に最も多くの時間と労力を費やす行事です。実施当日も、神輿の先導役や祭り運営全般にフル稼働です。



深夜の防犯パトロール

パトロール中に泥棒や不審者と遭遇することは滅多にありませんが、地域での犯罪を未然に防ぐための大切な取組みです。昨年から、朝の児童見守りパトロールも始めました。



地域少年野球を指導

少年野球チーム「長丘ファイターズ」で、選手たちと一緒に汗を流しています。彼らの全力プレーと成長が何よりの楽しみです。



警察と協力した防犯教室

南警察署とタッグを組んで、毎年、長丘小学校で「防犯教室」を企画・実施しています。放課後の帰宅時刻の徹底、日常防犯としての挨拶・清掃活動の大切さを伝えています。



FUKUOKA

の未来を、

子どもたちと一緒に！

子どもたちとの取組みへの挑戦を始めてから、7年になります。

この間、「子どもたちの将来の活躍を応援する」を合言葉に、様々な事業を企画・準備・実施してきました。これからも益々、将来の活躍を応援できるような機会の創出に努めていきたいと思います。事業の準備や運営の経験は、私にとっても将来への貴重な糧となっています。子どもたちに感謝です。

2019年度に実施した取組みの一部を紹介させていただきます。

国内での取組み



動物愛護管理センター

ノラ犬・猫や飼えなくなったペットたちが保護されるセンターでは、手術室や保護設備・殺処分場などを見学。冷凍庫には、見学2日前に殺処分された柴犬が麻袋に。動物愛護への取組みについて話し合いました。



福岡空港国際線ターミナル

向こう5年で大きく変容する福岡空港では、都市の国際化やアジア各国との交流の深化について説明を受けました。グループワークでは、①FUKUOKAの観光戦略／②日本人の海外経験を応援する取組みについて考えました。



福岡市備蓄倉庫

約30万食分の保存食品や衛生備品などを備蓄しているセンターを訪ね、簡易トイレや簡易ランプ製作などを体験しました。5年保存できるパンも皆んなで試食。①避難所生活では何が不便か／②自宅での備えについて考えました。



宮崎宮

「福博」の歴史を体感するために宮崎宮へ。宮内施設を見学しながら説明を受けた後は、400年以上前に太閤秀吉が「博多の町割り」を計画する会議を連日行ったとされる「拝殿」で、歴史・文化に関する事を沢山質問しました。



福岡市議会本会議場

本会議場では1人ずつ議席に着座し、議会や行政の役割について学びました。Q&Aコーナーでは、政治全般について多くの質問が飛び交いました。「市長席」や「議長席」の座り心地も皆んなで体験しました。



小学校での6年生特別授業

小学校6年生を対象に「政治と議会のしくみ」特別授業を実施しています。政治が自分たちの暮らしと直結していることや、近い将来、投票権を手にした時の「権利と責任」について考え、意見を出し合う特別授業です。

海外での取組み



カンボジア

SFODA 孤児院

凄惨な歴史を持つカンボジアには、多くの孤児院が存在します。2カ所の孤児院を訪ねました。SFODA孤児院では、特製焼きそばを調理してお昼ご飯と一緒に食べました。コンボンスプー孤児院には、1トンのお米を届けに行くことができました。



ミャンマー

ヤタナボン寺院孤児院

ヤタナボン寺院孤児院は、ミャンマー国内の少数民族の孤児約280人が集う施設です。子どもたちの栄養失調が顕著です。約2ヶ月分の食糧となる4.2トンのお米を届けに行きました。また、日本から持参したおもちゃで遊ぶ交流活動を実施しました。



タイ

タイヤクルト社アユタヤ工場

タイでも毎年、アユタヤにあるタイヤクルト社の巨大工場を訪ねています。工場敷地内の様々な施設見学をしながら、日本式の最新鋭技術と海外での「ものづくり」の難しさを学びます。作り立てヤクルトの味は、いつもと一緒にでした。



台湾

TOTO 社台湾工場

台湾では毎年、苗栗県のTOTO社工場を訪問しています。福岡企業のアジア市場での挑戦を学び、工場内施設の見学では、製作工程や現地ならではの工夫などを教えていただきました。一番人気は、ミニチュアトイレの製作体験！



ベトナム

ツーズー病院「平和村」

ベトナム戦争を題材に、戦争の悲惨さを体感する学習を行いました。ツーズー病院には、奇形障がいがある多くの人が暮らしています。現在でも続く枯れ葉剤被害について、日本でも有名な「ドクちゃん」本人から教えてもらいました。



ミャンマー

ヤンゴン市役所／謁見室

ミャンマー最大の都市ヤンゴンは、福岡市の姉妹都市です。今回の市役所訪問では、何と…マウン・マウン・ソー市長に款待いただきました！子どもたちは勇気を出して、市長にミャンマーのことを沢山質問しました。



カンボジア

「まなぶ」日本語学校

カンボジア国内の孤児院12施設への支援活動続ける「ミスターカンボジア」こと柳内さんが運営する日本語学校を訪問。学生皆さんと一緒に日本語で特別授業を実施しました。子どもたちが日本・福岡のことを教える先生役へ。



タイ

スラムチャイルドケアセンター

バンコク最大の「クロントイスラム」内にある学校施設を訪問し、福岡から持参した文房具を手渡すことができました。今日を必死に生きるスラムで、地道に続けられてきた教育普及活動に触れ、日本での教育環境に感謝する機会となりました。



カンボジア

在カンボジア日本国大使館

滞在先各国全てで大使館または総領事館へ訪問します。在カンボジア日本国大使館では、会議室で特別講義を実施頂き、カンボジア現地での暮らしや外交の役割について学びました。将来、海外で働いてみたいという夢がより大きくなったようです。



このようなアジア各国を舞台にした活動を開始してから4年が経ちます。

挑戦を始めてからこの間、各国現地で様々な活動や交流を積み重ねてきました。気づけば、この活動への理解を示していただく協力者が各国で沢山できました。これからも、現地の子どもの支援も含めた有意義な交流事業の輪を広げながら、多くの国際連携を進めていきたいと考えています。



ドゥワン・プラティープ 氏
自らもバンコクのクロントイ・スラム出身で、スラムでの教育普及事業に人生を懸けてこられた方です。その姿勢からは、いつも「教育」の本質を教わります。



チュオンナロン 氏
カンボジア王国／教育省の大臣。福岡市とプノンペン市の交流・連携の発展に期待を寄せてくれています。今後も具体的な国際協議を進めます。



マウン・マウン・ソー 氏
ヤンゴン市／市長。ヤンゴン市は福岡市の姉妹都市です。夏のミャンマー訪問時には、市庁舎で福岡の子どもたちと交流してくれました。

SFODA 孤児院

プノンペン郊外トンレサップ川沿いにある孤児院。ここではいつも炊き出し支援をして、昼食やダンスなどを一緒に楽しんでいます。この夏は焼きそばを作りました。



カンボジア



タイ

クロントイスラムの児童施設

バンコク最大のスラムにある児童施設。ここは私が世界の絶対的貧困をはじめて目の当たりにした場所です。彼らから「教育」の大切さを心底教えられました。



異国の幼い友人たち

孤児院を中心に、アジア各国の子どもたちの支援活動を続けていますが、何度も通ううちに、実は、彼らから与えてもらっている方が大きいことを実感します。彼らとのかけがえのない絆は、「心の豊かさ」とは何なのかを教えてください。

朝起きると顔を洗うための清潔な水が出て、学校という学び舎で教育を受けることができ、帰宅すれば夜ご飯が用意されていて、温かいお風呂にも入ることができて、寝るための布団がある。何より親と一緒に暮らせる。当たり前にある今日が終わって、当たり前の様に明日が来てくれる。

「明日」が約束されているわけでは無い現地の幼い友人たちは、いつも私の姿勢を正してくれます。いつも私の行動の道しるべになってくれています。



ミャンマー

ヤタナボン寺院孤児院

ミャンマーは多民族国家であり、ここは少数民族の孤児院が保護される孤児院です。明日の命は、約束されたものではありません。訪ねるときはいつも大量のお米を持って行きます。



カンボジア

コンボンスプーの孤児院

プノンペンから車で3時間、水道も通っていないコンボンスプー地区にある孤児院です。彼らにとっての「初めての日本人」が私たちだったそうです。この夏、お米を届けることができました。

ダンマラキッタ小・中学校

ヤンゴン市郊外の貧困地区サウスダゴーにある小中学校です。外部支援に頼りながらの運営が続いており、ここにはいつも文房具などを届けに行っています。



ミャンマー



ミャンマー

タンリンの尼孤児院

ここは女の子の孤児院だけが暮らす寺院です。身寄りのない女の子は人身売買の対象となる現実があり、身を守るために、みんな髪を剃っています。

継続と挑戦

この1年も、議会を舞台に、地域を舞台に、世界を舞台に、有らん限りの活動に従事させていただきました。最も難しく、最も大切にしていることは、「継続」です。1回きりの行動は、活動とは言えません。これからも、あらゆる活動を続けて参りますし、自分にできることを見つけ出し、さらに新たなチャレンジも生み出し続けていくことを皆様にお誓い申し上げます。

新村まさる市政事務所

〒815-0075 福岡市南区長丘2-24-3武末第一ビル1F

TEL:092-408-6375 FAX:092-408-6376

✉ info@niimuramasaru.com

プロフィール

福岡市議会議員（無所属）

新村 まさる

1980年7月26日生まれ 福岡市出身

【経歴】

- ◆ 福岡市立柏原小学校／柏原中学校
- ◆ 福岡大学附属大濠高校
- ◆ 早稲田大学／早稲田大学大学院
- ◆ アサヒビール株式会社 入社・退社
- ◆ 福岡市議会議員選挙(2011年) 落選
- ◆ 参議院議員大久保勉事務所 公設秘書
- ◆ スペクトラムアンドパートナーズ株式会社 役員就任
- ◆ NPO法人 次世代のチカラFUKUOKA 活動開始
- ◆ 福岡市議会議員選挙(2015年) 当選
- ◆ 福大大濠高校同窓会 校友会委員長 就任
- ◆ 長丘校区 防犯会長・自治協常任委員 就任
- ◆ 福岡市議会議員選挙(2019年) 当選



この1年も、様々な課題を取り上げ、議会質問に取り組んできました!



平成31年 3月予算特別委員会／総会質疑

1. 身体が不自由な高齢者への投票支援について
2. 市民に広く候補者の情報が行き届く仕組みづくりについて
3. 小・中学校における「政治の学習・主権者学習」の取り組みについて



令和元年 6月定例会／議会質問

1. 法定ハガキへのインク付着事案について
2. 選挙期間中及び選挙後の市選管の対応について
3. 福岡市選挙管理委員会に求められる責務について

令和元年 9月定例会／議会質問

1. 本市独自のランドセルバンク制度創設への検討について
2. 本市における在住外国人の特性と今後の動向予測について
3. 在住外国人との共生を目指した体制準備について

令和元年 10月決算特別委員会／総会質疑

1. 本市における障がい者雇用の現状について
2. 障がい者が働く職場でのフォロー体制について
3. 本市の障がい者正規雇用における「知的・精神」募集枠の新設について
4. チャレンジ雇用終了時における就労移行への支援体制について

令和元年 12月定例会／議会質問

1. 保育士就労への支援施策について
2. 本市における中長期の保育需要の見通しについて
3. 行政委員会の報酬の在り方検討会議について
4. 市選管委員の選任・推薦方法への問題提起

令和2年 3月定例会／議会質問

1. 雁ノ巣レクリエーションセンターの設備改善について
2. 他局所管の運動施設へのスポーツ推進部の関わり方について
3. 福岡市立障がい者スポーツセンター「さんさんプラザ」の利便性向上について
4. 障がい者スポーツの推進への今後の取り組みについて

令和2年 3月予算特別委員会／総会質疑

1. 地域自治の担い手不足、近年の動向について
2. 地域活動に協力意欲のある本市職員の「地域デビュー」支援について
3. 地域活動の振興を目的とした地場報道機関との連携の提案



特集1. ランドセルバンクの創設に向けて



子どもにランドセルを買ってあげるお金が無いんです…



「どこかに中古のランドセルを譲ってくれるところはありませんか」。入学時期には、このような相談を受けます。一般的に、ランドセルは4～5万円ほどと高価で、生活に困窮する世帯に特に重い負担としてのしかかります。

家計からの出費がかさむ時期ですので、福岡市では入学準備金制度による助成を設けています。

生活保護世帯:63,100円 就学援助世帯:50,600円

この入学準備金ですが、「とても助かっている」という声が多く聞かれます。一方で、ランドセルや体操服など学用品以外にも、学習机や卒園・入学式の着用衣類、祝い行事や新生活への身の回り品への出費など、市からの入学準備金で全てを賄うのは難しく、特に家計を圧迫する時期と言えます。



生活保護世帯と就学援助世帯は、福岡市にどれほどいらっしゃるのでしょうか?

4人に1人

生活保護対象:全児童の約2%(1,657人)

就学援助対象:全児童の21.7%(17,717人)

※平成30年4月参照

が支援の対象という厳しい現実があります!

「使わなくなったランドセル、誰が使わないかしら?」

一方で、子どもが卒業した後、まだ十分に使えるようなランドセルを持て余すという声や、必要な家庭に差し上げたいという相談もあります。

Q 議会質問 と A 福岡市の答弁

Q ランドセルなどの高価な学用品のリユースの仕組みは、市民ニーズに沿うものだと思います。まだ使用できそうなランドセルを募集し、必要な世帯に譲渡できるような本市独自の「ランドセルバンク」制度創設の検討をお願いしたい!

A ニーズ把握など必要な調査を行い、課題を整理した上で検討したい。

ランドセルの収集方法や保管場所、修繕の必要性など、制度実施には課題の集約が大事です。そして、課題への解決手法を導き出していくことが大切です。学校単位での取り組みを目指しても良いでしょうし、民間の学習塾との連携も手法のひとつだと思います。引き続き、このランドセルバンクの実現に向けて取り組み続けます。



特集2. 福岡市の障がい者採用、「知的・精神」には受験資格が無い？

「福岡市」が雇用する障がい者の方の数 : **298人**

※令和元年6/1時点

298人の皆さんの主な職場は、福岡市役所や各区役所・学校などで、雇用形態も正規採用や短時間雇用など、その働き方は様々です。福岡市の職員として働いてくださっている皆さんですが、まず障がい種別ごとに、近年の就労数の変化をご覧ください。

平成23年 身体:204名 知的:11名 精神:3名
令和元年 身体:194名 知的:21名 精神:83名

この10年ほどの間に、知的障がいと精神障がいの方の就労数が増えているのが分かります。次に、**障がい者正規雇用**に絞って、障がい種別の人数をご覧ください。

正規雇用 身体:165名 知的:0名 精神:9名

精神9名の方は、障がい者採用枠ではなく、一般採用入庁後に手帳を取得された方です。正規採用の実態は、「知的・精神」0名ということになります。なぜ、0名なのでしょう？

実は… 福岡市はこれまで、**正規採用の受験資格**を「身体障害」のみとし、「知的・精神に障がいがある方」には認めてきませんでした。



障がい者正規採用の受験資格は、各自治体ごとに定めています。全国20政令都市のうち、「身体・知的・精神」全ての障がい種別に対して受験資格を認めているのは…**14市**



Q 議会質問 と A 福岡市の答弁

Q 「知的・精神」障がいがある方にも受験資格を認めるべきでは？

A それぞれの障がいの特性をふまえ、社会参画できるための環境整備を進めていくことは重要であると認識しています。

福岡市への要望！

① 正規採用において「知的・精神」への受験資格の新設検討を強くお願いしたい！

※令和2年度から受験資格が認められることになりました！

② 知的・精神障がいがある方の受け皿となってきた「チャレンジ雇用(有期雇用形態)」制度においては、離職後のフォローアップまで本市が責任を持って、寄添った就労移行支援の実施を要請したい！

③ 働く障がい者の方からの相談を受けるなど、職場での活躍をサポートするための「ジョブコーチ」の増員と、サポート体制のさらなる充実を要望！

特集3. 身体が不自由な高齢者への「投票支援」は？

身体が不自由なため投票所まで足を運ぶことが困難な高齢者は、「投票」できないの…？

皆さん、「郵便等投票」という投票方法をご存知でしょうか？

郵便等投票とは？ 郵送により自宅から投票ができる制度

誰が使える制度？ 要介護「5」の高齢者

※その他、身体障害手帳をお持ちで、一定の要件に該当する方

福岡市内の要介護「5」の高齢者数: **5,289人**
その内、郵便等投票を希望するのは何名？

5,289人の内、**15人**(全体の0.28%) ※平成30年12月時点

郵便等投票を希望する場合、事前に「証明書」を取得する必要があります。証明書を一度取得すると、その後7年間の利用が可能になります。

5,289人(要介護5)のうち、「証明書」取得者はわずか15人。本来のニーズと制度設計との間に、大きな乖離があります。

身体が不自由な高齢者から、投票所までの歩行が大変困難だという切実な声が多く寄せられます。悪天候時の外出は、特に困難を極めるものです。



福岡市の
70歳以上人口の推移

平成11年 **10万9,480人**

令和元年 **24万3,725人**

※同年とも9/30時点

2倍以上に増加！

福岡市議選:
70歳以上の投票率

平成11年 **70.9%**

平成31年 **58.0%**

10%以上の低下！

70歳以上の有権者のうち、
投票を行わなかった人数

平成11年 **3万2,843人**

平成31年 **10万2,365人**

この20年で、投票所に足を運んでいない高齢者が激増していることが分かります！

Q 議会質問 と A 福岡市の答弁

Q 在宅介護を受ける全ての方への投票機会の確保について、福岡市はどれほど重要と考えているのか？

A 大変重要な課題であると認識しており、郵便等投票の対象者拡大について、国等への要望を続けたい。

福岡市への要望！

① 「要介護2」で、歩行や食事など日常生活に介護が必要とされています。今後益々、要介護者全てに対して投票への支援施策が求められるべき！

② 郵便等投票という手法に限らず、本市独自に要介護者へのきめ細やかな投票支援策を打ち出していきたい！

4. 地域の「自治」は、ボランティアで成り立っている？

現在、福岡市では各小学校区を中心とした地域自治が進められています。町内会長をはじめ、防災・子育て・高齢者見守り・スポーツ・清掃・交通安全・防犯など、地域課題のあらゆる分野に尽力くださっている地域有志の皆さんが、どの校区にもいらっしゃいます。この地域自治は、**善意とボランティア**によって成り立っています。



1,000人以上の町内会長さんに聞きました！

「町内の役員になり手が見つからない」と回答した割合

平成18年 **69.4%** → 平成26年 **77.1%** → 平成30年 **80.8%**

近年、どこの校区・町内でも、自治の運営や行事開催にともなう協力者探し、様々な分野で地域を牽引するリーダーの承継が、最大の課題であり悩みの種です。そして、これからも問題は益々表面化してくるでしょう。



後継者を準備することができず**町内会長を10年以上**続けることになっているケースや、**1人で5つも6つも各種団体の役**を引き受けているケースも少なくありません。その校区や町内ごとに、必死になって「協力者探し」を行うのですが、その負担は一部の皆さんに集中し、従来の募集・周知の在り方は限界にきています。



福岡市への要望！

①福岡市内には、1万2,000人ほどの市職員（教職員含む）の方が暮らしています。地域活動への参加・協力に意欲のある職員さんを掘り起こし、その地域デビューを応援する取組みを検討いただきたい！

②「地域の担い手」の創出や継承は、極めて重要な課題です。全市をあげて地域活動への協力者を募る取組みを実施し、さらに、本市がそれぞれの校区と新たな協力者を繋ぐ役割を担っていただきたい！

③「地域活動の情報発信」「地域活動への協力者の掘り起こし・募集」に関して、地場メディアとの包括協定という手法など、情報発信力を高めることを目的として、報道機関とのさらなる連携を提案！

5. 「障がい者スポーツ」推進で、就労にも好影響？

福岡市立障がい者スポーツセンター 通称：さんさんプラザ

ここでは、多くの障がい者スポーツ大会が催され、年間10万人を超える利用者の方が障がい者スポーツを楽しんでいます。心身ともに健康を増進するためにとても大切な施設です。

利用者さんとそのご家族が長年悩まされてきた設備

- ①施設内トイレにある大便器のうち、半数近くが「和式」 ②障がい者用駐車場に「屋根」が無い



トイレの洋式化へ！ 屋根の設置へ！

和式トイレの場合、下肢をはじめ身体が不自由な方にはもちろん利用が困難です。「知的・精神」に障がいがある方にとっても、自宅の便器とは異なるため、使用できないケースも多いわけです。近年、利用者数が増加する中で、トイレが間に合わず失禁となる悲しい事態も少なくないそうです。

施設の外には、障がい者用駐車スペースが並んでいます。出入口までは20mほどですが、屋根が無いために雨の日には、車の乗り降りに大変な困難が生じています。障がいがある方にとって、車の乗り降りは、ただでさえ苦勞の多い動作です。5分ほどの間ずっと雨に打たれながら乗り降りする光景も多く見られます。中には、施設内で雨が止むまで何時間も待機する方もいらっしゃいます。

トイレの洋式化と屋根の設置については、喫緊の改善課題として議場で要請しました。



精神障がい者のフットサル大会を見学する機会がありました。楽しみながら、真剣にスポーツに取り組まれる姿勢から、身体と心の両方への健康増進効果を強く実感しました。



「**スポーツがもたらす障がい者の就労への効果**」についても、一部から研究事例や報告が上がっています。

障がい者スポーツの場の広がり

身体と心の健康増進、就労への効果・影響



これまで、障がい者スポーツの推進と「就労」への効果について、相関や影響が語られる機会は少なく、福岡市においてもそのような調査・研究はこれまで行われていません。障がい者就労へ好影響をもたらす、社会全体への貢献実績が数値やエビデンスとして今後多く示されることになれば、「障がい者スポーツ推進」の意義について、社会へ格段に理解が広がることが期待されます。



福岡市への要望！

①障がい者スポーツセンターのみならず、一般の市内体育館等においても、利用者目線による利便性向上を追求して、障がい者とそのご家族のQOL増進を多くの場所で生み出す努力をお願いしたい！

②今後の障がい者スポーツの推進を広く市民の理解のもとに進めていくためにも、保健福祉局には、「障がい者スポーツと就労」に着目した調査研究を進めていただき、障がい者スポーツのより一層の振興に取り組んでほしい！

特集 6. 「市選管委員」は、どのようにして選ばれる？

選挙期間に入って3日ほど経った頃、複数の後援会世話役の方々から選挙事務所に抗議の連絡が入りました。届いた法定ハガキが「**激しく汚損している**」ということでした。早速、宛先不明で事務所に戻って来ていた31枚のハガキを確認したところ、全てにインクによる汚損が見られました…。つまりは、送付済みの法定ハガキの**ほとんど全てにインク汚損**が生じていることが予想されました。



法定ハガキとは… 選挙期間中に有権者へ投票を促すことができ、とても重要な選挙ツールです。福岡市議会議員選挙では、**4,000世帯**まで郵送配布することが認められています。

原因：自動押印機(郵便局)のインク補充の際、職員が誤って、所定の分量以上にインクを補充してしまった。

選挙の法定ハガキにおけるこのような著しい汚損事案は、九州管内でも過去に例が無く、極めて重い事態と認識しているとのことで、この過失に対しては、福岡南郵便局と日本郵便株式会社九州支社より正式に謝罪を受けました。



法定ハガキの郵送
送付先は、応援者から紹介頂いた方などです。

汚損ハガキが到着
汚いハガキ…**投票行動に影響！**

他の候補者の法定ハガキに汚損は無く、選挙に最も求められる**公平性が担保されない**という前代未聞の事態となりました。

福岡市議会議員選挙の公平かつ適切な管理・運営を司るのは、「福岡市選挙管理委員会(市選管)」という行政委員会です。私は選挙期間中にも、選挙後にも、以下の2点について有権者(市民)の皆さんに公表・発信いただくよう求めてきました。

- ① 今回の過失事案が発生してしまった事実の公表
- ② 今後の公正な選挙運営のため、再発防止策の発信

しかしながら、市選管は「過去にない深刻な事態」と位置付けながらも、**市民への公表は行わないこと**を決定しました。また、市選管は4人の「市選挙管理委員」で構成されますが、この重大事態の発生について4人の委員全員に説明がされたのは、選挙が終了した2週間後であり、選挙期間中には委員が集まって話し合うことさえなかったことが発覚しました。

これでは、果たして何のための「選挙管理委員」なのかと、形骸的な役に過ぎないのかと感じてしまいます。

福岡市の「選挙管理委員」について

- 人数：4人 ■ 任期：4年(再任を妨げず)
- 報酬：**258万円/年**(委員長職は**306万円/年**)
※令和2年度より188万4,000円/年に改定されます。
- 役割：選挙に関する事務
- 主な業務内容：月2回の委員会や、その他研修会への出席など



「委員会」1回あたりの平均所用時間：**約34分** ※令和元年

選ばれ方が1番の問題！？ 名誉職？ 形骸化？

「市選管委員」は議会の選挙によって選任されます。
では、その候補者はどのように選ばれるのでしょうか？

福岡市議会は、この4つの委員ポストに対して、人数の多い会派上位4つ(改選時)がそれぞれ1人ずつ人選して送り出すという慣例が、昭和53年から現在に至るまで、約40年ほど続いて来ました。



しかも、平成6年からはずっと…、「**議員経験者**」が4ポストのうち3つを占める状態が現在まで続いています。
議員経験者の委員就任には、その経験や知見が活かされるという長所もあるでしょう。一方で、これまでのような市民に見えにくい候補者選定の仕組みでは、あたかも退職議員の功労ポストや名誉職ポストのように映りかねません。



議場で、議員各位へ問題提起を行いました。

市選管委員とは本来、民主主義の根幹となる公平・公正な選挙を司る大切な役割です。**透明性が高く、適切な選任・推薦の在り方**に今後見直ししていくことは、我々議会としての責任課題である。



統計から見る、わたしたちの街の特徴は？ 南区の小学校「25校区」と比べてみました！

※他の小学校区につきましては、今後 随時取り上げていく予定です。

長住小校区

人口：8,589人 世帯数：3,904世帯
小学生児童数：522人

福岡市議選(2019年)の投票率
51.3%(南区平均：43.4%)



- ◎ 戸建てエリアと長住団地が広がり、多くの人が集う「長住祭り」は大人気。
- ◎ 平成12年と比較して、人口は**2.9%**減少。一方、世帯数は**12.0%**増加。
- ◎ 平成27年以降、直近は人口**増加傾向**に転じている。
- ◎ 65歳以上人口の占める割合が**30.9%**と高い。(南区平均：22.4%)
- ◎ 長住校区の男女比率は、男性**45.3%**女性**54.7%**と、女性比率が高い。
- ◎ 持ち家率が**55.9%**(南区平均：42.2%)、戸建て率が**44.6%**(南区平均：27.2%)。
- ◎ 校区内に**400**の事業所があり、それらの事業所で**2,439人**が働いている。

玉川小校区

人口：17,051人 世帯数：9,805世帯
小学生児童数：673人

福岡市議選(2019年)の投票率
38.0%(南区平均：43.4%)



- ◎ 小学校から大学まで所在する文教地区で、**校区人口**は南区No.1。
- ◎ 平成12年と比較して、人口は**32.2%**増加、世帯数は**43.8%**増加。
- ◎ 平成12年と比較して、小学生児童数は**1.8%**減少。(南区平均：8.9%増加)
- ◎ 65歳以上人口の占める割合が**15.2%**(南区平均：22.4%)と、南区で最も低い。
- ◎ 5年間のうちに転出(引越し)する世帯の割合が**57.6%**。(南区平均：41.9%)
- ◎ 持ち家率が**21.1%**(南区平均：42.2%)、戸建て率が**4.7%**(南区平均：27.2%)
- ◎ 校区内に事業所数が**1,345**あり、医療機関の数は**25**と南区で最も多い。

※上記データは、福岡市住民基本台帳・国勢調査等の資料から引用しております。